

平成三十年度（九月二十六日）

吟道撰楠流七段考查筆記試験問題 宗家

| 出席番号 | 氏名 | 雅号 | 単位 | 会名 |
|------|----|----|----|----|
| | | | | |

問一 本日、貴方が吟詠された課題詩歌の題名と作者名を左の枠の中に書き、小問①と②に答えて下さい。

題名 作者

① 作者や詩歌の内容について述べて下さい。

② 作者及び詩歌の内容を意識して、どのようなことに注意して吟詠されましたか。

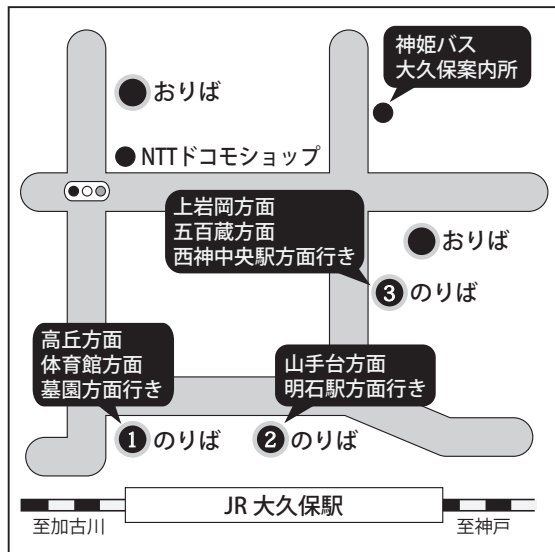
問二 吟詠教範序文（抜粋）より出題です。〔 〕に適切な言葉を入れて文章を完成させて下さい。

吟詠に対する吟者の心得べきことは左の通りである。

- 一、詩歌の〔 〕をよく知ること。
- 二、作者は如何なる〔 〕に於て作ったものかを十分弁え其心情になつて吟すること。
- 三、厳肅な精神と正しい姿勢を整えること。
- 四、読みを誤らず発声を正常にすること。
- 五、怒気を帯び或は華美に流れたり〔 〕に拘泥したり、又は気取つた調子のないこと。

問三 貴方のこれまでの吟詠の歩みと七段（皆伝）取得に対しての抱負を述べて下さい。

【JR 大久保駅北ロータリー（バス・タクシー乗り場）】



徒歩

JR 大久保駅より約 1 km
北西出口より北上
所要時間：10 分強
（次頁の地図を参照下さい）

神姫バス

JR 大久保駅北ロータリーより
③のりばの 12 系統「西神中央駅
行き」「田井西口行き」「上岩岡
行き」に乗り、二つ目の停留所「大
窪宮前」で下車
所要時間：2 分
運賃：160 円
※①②のりばからの路線では
「大窪宮前」を通らないものが
多いので注意して下さい。

